

第15回科学技術システム改革専門調査会におけるご意見

[研究開発型ベンチャープロジェクトチームの検討課題と 今後の進め方について]

平成14年 9 月25日

(研究開発の促進)

- 開発を加速するため、開発者への報酬をどうするか。
- 企業のコーポレイトラボも変わらねばならない。歴史を引きずって様々な研究をやっており、いい種であるが次ステップへ進めていない技術もある。

(資金調達)

- 起業に際しての最大の問題は資金調達であり、創業者に個人保証を求める仕組みを変えないといけない。
- エンジェルマネーが出やすいようにするため、税制改正を。

(知的財産の保護・活用)

- スピンオフ起業にあたっては、知的財産の移転手続きの問題がある。
- ベンチャーの知的財産をどう侵害から守るか。パテント・アトニーのような専門家育成が必要。

(販路開拓、市場参入)

- ベンチャーの製品の購入・調達側に仲間意識があって、実績のないベンチャーの製品はなかなか購入してもらえない。
- 購入側から見ると、供給責任がしっかりできるかが重要。この面が弱いベンチャーを何らかのかたちで第三者がサポートすることができないか。
- 医薬品の開発に関しては、医療費の総枠での規制の問題があり、

国内では収益が上げられず、まず海外市場で勝負する傾向がある。このため、海外でのマーケットリサーチにサポートがあるとよい。

（倒産と再起）

- 我が国はベンチャーに失敗すると借金と失敗者の烙印により、致命的な打撃を受ける。こういうことにならないようにすることが必要。

（支援・連携体制）

- ファブレス・EMSに対応した製造部門、ソフト分野ではアプリケーションの開発、さらに法務・財務部門など、ベンチャー自身でできない部分をアウトソースしていく必要があり、地域においてそのためのリソースが調達できるようにしないといけない。たとえば知的クラスターの中にそういう面のデザインをいれたらどうか。

（進め方）

- ベンチャーでうまくいっていない人たちからどういう支援を求めているかきいてみたらどうか。